



せいい乳児院の窓から

第128号 2021年12月



「もうはや12月！」という言葉がついて出ます。時間が経つ早さを感じています。新しい乳児院が完成し、その中身づくりをといろいろ考えてきましたが、思っていたことが十分になし得ず、少し心残りの師走を迎えています。

小規模ケアを充実したいと3ユニットの養育体制を始めました。子どもたちを単に少人数グループに分けるだけではなく、落ち着いた雰囲気の中で、子どもたちの気持ちがより安らぎ安心して過ごせる生活を作るためにどんな工夫をすればよいのか。生活の中に小規模ケアだからこそ可能な細やかな配慮を盛り込んでいくこと、その配慮が生活の流れの中に根づくことを目指して、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

11月上旬にRSウィルス感染症がまん延し、ほとんどの子が罹りました。子どもたちに症状が順に現れてくる間、職員は看護と保育に大わらわでした。2歳までの間にほぼ100%の子どもが感染すると言われていますが、あらためて感染力の強さを体感しました。現在、子どもたち全員元気です。

昨年に引き続き、クリスマス会は保護者の皆さんを招待せず、子どもたちと職員とで開きます。子どもたちが演じる天使の行列やサンタさんからのプレゼントなどで楽しく過ごします。保護者の皆さんには後日写真でお伝えします。

クリスマスとお正月が、人との交流を通して心温まるものになるようお祈りします。

(院長 中村秀人)

秋のようす

・秋のお楽しみ会・



新型コロナウイルスの影響で9月に予定していた遠足を中止し、秋のお楽しみ会をしました。お昼はバルコニーでお弁当を食べ、ピクニック気分を味わいました。栗の形のおにぎり、どんぐりのようなウインナーと秋を感じるお弁当をお腹いっぱい食べました。

午後からは手作りの果物狩りをしました。ぶどう、なし、りんごの間に挟まったお菓子をみんなで輪になって食べました。



・いしかわ動物園・



10月14日、いしかわ動物園へ遠足に行きました。久しぶりの院外行事に子どもも大人もドキドキ・ワクワクです。子どもたちは前日から、「パンダおる？ブタさんおる？バス乗る？」と楽しみにしていました。動物園に着いてからは、初めて見る本物の動物たちに興味津々！自分から近付いて行く子もいれば、遠くからそっと見ている子もいました。美味しいお弁当も食べ、大満足の遠足になりました。帰ってからも、「キリンおった！バス乗った！」と楽しそうにお話してくれました。



・味覚狩り・



10月21日、つばめ組の年長児4人は、さつまいも掘りに行きました。初めて触る土のついたさつまいもに緊張しながらも、「うんとこしょ、どっこいしょ」と一生懸命引っ張りました。また、採れたての大きなキャベツや大根も見せてもらったり、触ったりと、とても貴重な経験ができました。



・ハロウィン・



10月28日、少し早いハロウィンをしました。子どもたちは、マントや帽子で仮装しました。今年は、院長先生や栄養部さんの他にも、理事長や、統括施設長、愛児園の園長のお部屋もまわり、たくさんのお菓子やジュースをもらいました。

また、ハロウィンに向けてクッキー作りもしました。子どもたちはおばけやかぼちゃの型を抜き、デコレーションもしました。とっても美味しくできて、大満足の様子でした。



もうすぐクリスマス



クリスマスも近づき、乳児院内にもクリスマスツリーが飾られました。サンタさんからのプレゼントを心待ちにする子どもたちですが、職員は、プレゼントを何にしようかと頭を悩ませています…。



・七五三・



11月14日、つばめ組のMちゃん、Sちゃん、Yちゃんは、派手やかな着物を着て、カトリック金沢教会にて神父様から祝福を受けました。これまでのお恵みに感謝し、これからも健やかに過ごせるよう、みんなでお祈りしました。



・聖エリザベットお祝い会・



11月17日、乳児院の保護者である聖エリザベットのお祝い会をしました。いつも玄関から子どもたちを見守ってくださっている聖エリザベット像の前で、シスター粉山からのお話を聞いて、讃える歌を歌い、ひとりひとり献花をしました。



泣いたり笑ったり

かなりあ組 Uくん(4か月)

大人と目が合うと、可愛い笑顔を見せてくれるUくん。そんなUくんと、“プー”と音が鳴る握り玩具で遊ぶことにしました。Uくんの前で“プー”と音を鳴らすと、Uくんは音に驚いたのか不安そうな表情になり、泣いてしまいました。でも次の日には、“プー”という音に慣れたのか、笑顔で遊べました。Uくん、驚かせてごめんね。これからもいろいろなおもちゃで遊ぼうね。

つばめ組 Tくん(2歳)

11月に2歳になったTくん。おままごとをしている時に、ケーキをお皿にたくさん並べ、手を叩いて、笑っていました。大人がハッピーバースデーの歌を歌い、「おめでとう」とTくんに言うと、さらに笑顔になりました。お誕生日会の練習かな?とと思っていましたが、本番では早くケーキが食べたくて、ソワソワ。練習のような拍手は見られませんでした。それでも、ケーキを食べると、満足そうなかわいい笑顔が見られました。

つばめ組 Yちゃん(3歳)

お話がとっても上手なYちゃん。「〇〇に行った!」「〇〇した!」「〇〇が好き!」などいろいろなお話をしてくれます。おしゃべりが止まりません!10月に行きたいしかわ動物園への遠足がとても楽しかったようで、動物園の思い出話をたくさんしてくれます。これからもいろんなところに行って楽しい経験をしようね!

大人の思い -毎日をふり返って-

11月の職員のふり返りです。「子どもを育てる」は私たちが「子どもから育てられる」営みでもあります。

- 新しく入所した子が、ご飯の時間どんな様子で食べていたのか、現場の職員が教えてくれたことがあり、「あー、おいしかった！」と言っていたよと教えてもらい、良かったなと思ったのと、その姿を想像すると可愛いなと思った。自分では見るできない姿を知ることができるので、何気ない会話から他の職員とコミュニケーションを大事にしたいと思った。
- 目で伝えることは前より減ったように思うが（「私の養育目標」は、目でこちらの意思を伝えないようにする）、考えごとをしている時表情が硬いのか、担当児に「〇〇ねえちゃん」と心配そうな顔で声をかけられることが何度かあった。無意識に自分の表情が硬くなっていることを反省した。子どもは大人の顔をよく見て生活しているのだなとあらためて感じた。
- 子どもたちがマリアルームで遊んでいるとき、私にご飯を介助されるのを嫌がる子も（厨房の窓越しに）「〇〇さん！」と呼んでくれたりして、そこから会話につながることもあるのでうれしい。
- 職員間の話し合いで、子どもがやろうとしていること、できることを先走ってやってあげていることが多いのではないか！という意見があった。私も気づかないうちに手を出していることがあるのではないかと振り返ることができた。子どもの意欲を見逃さず、見守る、後押しする対応を心がけていきたい。
- 部屋の話し合いなどを通して、子どもとの約束について、より意識的に関わられるようになった。約束を守ることはもちろん、「今度ね」などあいまいな言葉を避け、「明日ね」と伝え、明日の保責（保育責任者）につなぐなど。
- 年長児で、ぐずって思いを通そうとする子がおり、気持ちを考えず「おしまい」と言ってしまうことがある。全部受け入れることはできないが、子どもが納得して落ち着けるような関わりをするようにしたい。
- 〇〇ちゃんは泣きが激しい。泣くというより叫びみたいで、泣いて訴えるではなく、怒り泣き叫んでいるように感じる。抱くとケロッとして大人の顔をじっと見る。生まれて間もない彼女が怒り泣き叫ばないといけないほどの思いを何か抱えているのだろうか。抱っこされ、優しくあやされ、穏やかな感情で愛されていると思えるように関わっていきたいと思う。
- 今していることの手を止めて、求めている子どものところへ行けば良かったかもしれないと後から思うことがあった。まだうまく言葉で伝えられない子どもたちと関わり、子どもの気持ちを表情や反応で読み取り、寄り添うことの難しさを感じた。寄り添う意識はできたが、もっと子どもたちを知りたいと思う。

ご支援ありがとうございました。

2021年9月1日から2021年12月7日までに、寄付・寄贈にご協力いただいた方々のご紹介をさせていただきます。

【寄付金】

越村好江 武内利夫 匿名の方2件

【寄付物品】

大和紀世恵 母子保健推進会議 日本ベビーフード協議会 P&G 株式会社
フードバンク JA 石川県女性組織協議会 金沢ソントクラブ (敬称略)



■編集・発行 聖霊乳児院

〒920-0865 金沢市長町1丁目5番46号

TEL 076-223-2878 FAX 076-222-7589

HP <https://www.kanazawa-seirei.org/nyujiin/>